

一つ目は、原爆ドームです。もともと原爆ドームは一九一五年に物産品を展示、販売する「広島県物産陳列館」という施設だったそうです。今は、平和の大切さを訴え続ける、人類共通の平和記念碑です。世界遺産にもなっています。

二つ目は、原爆の子の像です。原爆の子の像が作られたきっかけは、佐々木禎子さんという女の子が関係しています。

禎子さんは、二歳の時に自宅で被爆しました。ですが、禎子さんにけがはなく、被爆後は元気に過ごしていたようですが、被爆してかなり時間が経ってから白血病と診断され、亡くなりました。これをきっかけに同級生たちは、原爆の子の像を造る運動が始まり、各地から送られてきたお金で一九五八年の五月五日に完成しました。

三つ目は、平和記念資料館です。特に、被爆者が持っていた八時十五分で止まった時計と、丸焦げになった三輪車が印象的で、未来

ある子供も無差別に殺されてしまつて辛いな
と思ひました。

今、世界には核を持っている国がたくさん
あります。他の国に攻撃されないよう、威嚇
するためです。その一つでも世界に落とされ
てしまつたら、また広島悲しい歴史をたど
ることになつてしまいます。

私は、なぜ問題を武力で解決しようとする
のだろうか、どうしても原爆を落とさなきゃ
いけなかつたのだろうかと思ひました。原爆
を落としても、自分がこの手でたくさんの人
を殺めてしまつたと後悔するだけだと思ひま
した。日本とアメリカは戦争をしていたので
アメリカは早く終わらせるために投下したの
かもしれませんが、このように悲惨なことに
なつてしまつたことは、みんながこれからの
未来のために覚えていなきゃいけないことだ
と思ひます。

私は、南小学校の代表として、そして鶴ヶ
島市の代表として参加させていただいたこの

広島市平和記念式典児童派遣事業に参加させて
いただいた経験を自分一人のものだけにす
るのではなく、学校でも広めていきたいと思
います。この経験は、自分にとっての大きな
財産になると考えています。このような機会
をいただきました、ありがとうございました